

# とよまつ語ろう会

通信

No. 7

ちよとよんさい!  
かたろうやあ!



2020.10.15

2020.9/24(木)  
(第8回目)

とよまつ語ろう会実施!

〜ご報告&ご意見〜

みなさまこんにちは! 地域おこし協力隊の高火田です。  
9月の語ろう会では、はじめて『子育て』というテーマを  
掲げて会を開催してみました。8名(うち1人子ども)の方が  
参加して下さい、豊松での子育てのよさや課題、  
各々の思いについて、さくばらんにご語り合いました。  
次に、会で話されたご意見をまとめてご紹介  
しますので、ぜひご覧ください!!



## ご意見

- 地域に「子どもたちの寄れる場」がほしい。特に、中高生になると地域とのつながりが少なくなるので、中高生が地域や小学生と関わる機会が必要。
- ちよとよんさいが子どもたちのよりどころにもなると思う。そのために、Wi-Fiをつけてほしい。(Wi-Fiは子どもだけでなく、大人の仕事場としてもよんさいが使われるきっかけになるかも)
- ちよとよんさい開館日(火・木・土)とずらして、子どもたちのより場として開けることを検討してみるのもいいのかもしれない。(※スタッフややり方は要検討)
- センターの事業である「キッズわいわく広場」や夏休み合宿に中高生が混ざるのもいいかも。(絆のつながりごと)

裏面へ続編!



続きです→

- お母さんお父さんが子どもと離れてほしめる時間がもてることが子育て中ではとても大切で必要なこと。子どもを見てくれる人がいて、気兼ねなく自分の時間や横のつながりを作れる機会が地域にあるとすごく安心できる。
  - 子育てに困難さを抱え込む前に、保小時代で横のつながり、地域とのつながりがもてるし安心して子育てができる。
  - 保護者の価値観も多様になり、地元の人だけでなくイターンの人も増えている。色んな人の価値観を受け止めながら関わりが~~つくれる~~地域づくりが必要な時期に入ってきている。
- <sup>おもしろい!</sup>【ケーキとコーヒーの会】のような、おいしいものとほしめる時間を提供できるといいのかも。
- ~~イターン組が孤立しないように~~つながりを地域からつなぐことが必要。そこから移住定住の輪が広がっていく可能性もある。
- 子どもと大人が交流する機会として、~~毎踊りや伝承文化を通じて~~親子交流・地域交流ができる。(実際、毎踊りを学ばない方がいる)
  - プレハローは、子どもたちの遊び場であり、~~保護者も楽しめる場~~になることが鬼力。 (キャンプや焚き場など) ~~子育て世代が気軽に~~寄れて楽しめる、交流できる場というイメージができる。

いかがでしたでしょうか？ 参加された皆さま、たくさんのご意見ありがとうございました！

次回

10/27(火) 18:00 ~ 21:00 「ちょっとよんぱい」にて。

引き続き、『子育て』をテーマに語りつ会を実施します！

気軽にどうぞ / 途中参加・途中退室OK / オンライン参加OK /

皆さま  
お待ち



ご参加・ご意見  
しま〜す!!

